

平成28年度 事業報告

I 総括

平成28年の8月は、増え続ける温室効果ガスやヒートアイランド現象の影響もあり東京の最高気温が沖縄の最高気温を0.5度上回る異常事態となりました。猛暑の中、7月に発表されたポケモンGOは大きな社会現象となり、道路に人が溢れたり車を運転しながらゲームに興じていたため死亡事故を起こすなど、IT技術の社会との結び付きが良し悪しに関わらず一層深まっていることを実感した年になりました。

政治的には米・英の広域経済圏からの離脱や移民の受け入れ制限といった反グローバルズムのうねりや、ISや北朝鮮の危険な活動が続く中、わが国は安定政権の下で18歳に引き下げられた参政権に基づく選挙が実施された記念すべき年でした。

経済動向は、アベノミクスの取組で大手企業の雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費及び民間設備投資は、所得、収益の伸びと比べて力強さが欠けたままです。

一方、都政は大きな変革を迎えています。舛添知事の辞任を受けて小池新知事が誕生し、オリンピック・パラリンピックの会場問題や豊洲新市場の安全問題などを皮切りに、矢継ぎ早に東京大改革を進め、都民の高い支持を集めています。小池知事が初めて手掛けた総合計画「2020に向けた実行プラン」では、3つのシティーの実行に向けた4つの挑戦、5つの戦略が掲げられています。具体的な政策では成長の基盤となるイノベーションの活性化としてIoTの活用、持続的な環境先進都市としてスマートエネルギー化の促進等が設備技術に係りの深い事項として挙げられています。

一方、我々の事業に直接関係する一者入札、最低制限価格、予定価格の事前公表の見直しについても、平成29年度の試行案として下水道局の契約については予定価格を事後公表に変えるとされ影響は必至と思われます。都民ファーストの目線から策定中の「2020改革プラン（仮称）」の発表内容と合わせて注視が必要です。

自然災害に目を転じると、昨年4月に発生した熊本地震は都下水道局からも災害復旧の支援部隊が派遣されるなど九州地方に大きな災害を齎しました。東京に被害はなかったものの、「災害時における水再生センター等の応急復旧業務に関する協定」を都下水道局と締結する当協会では、出動体制等について充実の必要性を改めて考えさせられました。

また、平成27年9月の関東・東北豪雨の様な豪雨被害等はなかったものの、11月に福岡の中心市街地で大規模な道路陥没が発生、下水道管も破断し、都市インフラの事故の重大さを改めて思い知ることになりました。

都下水道事業は再構築工事の工程の複雑さなどから契約不調となる案件が見られ、当協会では関連する委員会や部会での議論を踏まえ、対応策などの提案を都や国土交通省に行いました。

更に協会主体の活動として、工事の安全管理や関連技術の広報普及を目的とした公開講演会を実施し、安全対策が施された最新工具の紹介やバーチャルリアティを活用した安全管理の実体験なども研修に取り入れました。昨年度に続き、会員の若手社員や事務職社員の下水道に関する関心や知識を深めることを目的に、下水処理の流れに沿って水再生センターを詳細に見学し学習する実務的な研修を実施し、参加者から

は好評でした。

広報分野においても、下水道の日に合わせ一般新聞の首都圏版に下水道の仕組みを判り易いマンガで表現した全面広告を掲載し、関係者から大きな評価をいただきました。掲載新聞のモニターアンケートによれば700万人弱の読者が「記憶に残る広告」と評価してくれました。

さて都下水道局は、2017年1月には「技術開発推進計画2016」、3月には「アースプラン2017」を策定・公表しました。これらの中で新たな高度処理技術やエネルギー自立型焼却システム、エネルギー供給型焼却システム等、設備技術の開発の必要性や導入のスケジュールが記述され、それらのニーズに会員の持つシーズを組み合わせる仕組みについても具体的な提案がなされています。経営計画2016と合わせ、これらの計画に的確に対応し、下水道事業の推進に貢献するために、協会は一丸となって努力と工夫を重ねていきます。

以上の、具体的な実績・内容等につきましてはⅡの事業実績に於いて報告します。

Ⅱ 事業実績

平成28年度における事業は、定款第4条（事業）に記載の事業に基づいて実施しました。

1 下水道設備に関する設備技術の向上・改善及び維持管理に関する調査・研究

(1) 技術の調査研究

- ① 日時 平成28年11月9日（水）
- ② 場所 国立研究開発法人土木研究所、筑波大学藻類バイオマス研究拠点
- ③ 参加者 会員20名
- ④ 内容 土木研究所では、土木関係の視察として舗装走行実験施設見学、橋梁撤去部材保管施設の視察を行いました。前者では低騒音舗装など各種舗装のテストピースの見学や走行抵抗の実験を視察しました。後者では老朽化、塩害、火災等で損傷を受けた橋を回収した実物を見学し、適切な維持管理にフィードバックしているとの説明を受けました。

また、水質水文共同実験施設の見学も行いました。視察した実験は水生生物によるバイオアッセイ及び下水汚泥と他バイオマスの混合嫌気性消化・下水を用いた藻類バイオマス生産で、次に訪れた筑波大の研究と合わせて藻類の研究の現状を理解することが出来ました。

筑波大学では藻類バイオマス・エネルギーの大規模実証施設を視察し、生産された藻類の利用として石油代替燃料のみならず化粧品などが試作されている状況がよく判りました。

いずれの視察も藻類利用の状況を知る貴重な内容でした。

(2) 東京都の技術開発に対する支援

都下水道局との共同研究については、公募型共同研究、ノウハウ+フィールド提供型共同研究、簡易提供型共同研究、開発技術の導入を前提とした共同研究な

どがあり、年間を通じて支援しています。会員はそれぞれの目的の下に共同研究などの技術を活かした事業化に取り組んでいます。

2 下水道設備に関する情報、資料の収集及びその普及啓発

(1) 説明会及び意見交換会

1) 下水道局事業説明会

年度当初に局幹部を講師として招き当該年度の事業概要と設備関連の事業動向等について説明して頂くもので、下記のように実施しました。

- ① 日 時 平成28年5月26日(木)
- ② 場 所 新宿NSビル会議室
- ③ テーマ 平成28年度下水道事業と今後の展望、平成28年度の区部下水道建設事業
- ④ 講 師 東京都下水道局計画調整部事業調整課長及び建設部設備設計課長
- ⑤ 参加者 会員59名

2) 下水道局アースプラン2017、技術開発推進計画2016説明会

経営計画2016に引き続いて策定された両計画についてその内容や背景について説明して頂くもので、下記のように実施しました。

- ① 日 時 平成29年3月29日(水)
- ② 場 所 新宿NSビル会議室
- ③ テーマ 下水道局アースプラン2017、同技術開発推進計画2016
- ④ 講 師 東京都下水道局計画調整部エネルギー・温暖化対策推進担当課長、同技術開発担当課長、主任
- ⑤ 参加者 会員50名

(2) 要望活動

1) 下水道設備工事に関する要望活動

- ① 日 時 平成28年9月2日(金)
- ② 場 所 都庁新宿庁舎会議室及び流域下水道本部会議室
- ③ 要望先 東京都下水道局：下水道局長・技監及び本庁部課長
流域下水道本部：本部長・流域下水道本部部課長
- ④ 内 容 下水道設備工事に関する諸課題について会員からのアンケート等に基づいて整理し、会長はじめ常任幹事・調査委員長及び事務局が出席し、下記事項について文書で要望しました。
 - ・ 監理技術者の不足で工事が受注できない場合があるため、工事の一時中止等による監理技術者の現場専任緩和期間に、他の専任を要する工事との兼任が可能となるよう関係機関への働き掛けを。
 - ・ 沈砂池再構築の様な土木工事と設備工事が重複して発注されてる場合、断続的な作業工程となるので、実態に即した工事費で発注を。
 - ・ 導入を前提とした共同研究で複数の事業者が目標を達成した場合、民間事業者の開発意欲が低下しない配慮を。
 - ・ 工期延長に伴う費用増加について簡便式で積算できるよう関係機関に働き掛けを。
 - ・ 異種工事は別途発注を。止む無く合体工事とする場合は、設備業者

より徴収した見積もりを採用し、実態に即した工事費へ。

・多様化した技術開発のニーズに対し中長期的な開発計画等の発信を。

2) 下水道意見交換会議

下水道事業の効率的執行の為に、地方公共団体及び業界団体等に共通する施策テーマについて、官民一体となって意見交換を行うことを目的に日本下水道協会の主催によって実施されており、当協会は参加して意見交換を行いました。

① 日 時 平成29年2月8日(木)

② 場 所 神田すいすいビル会議室

③ 要望先 国土交通省水管理・国土保全局下水道部、東京都下水道局

④ 内 容 ・設備再構築工事は、従来の積算基準では適切な工事費算定が困難なため、大幅な見積もり採用や下水道用設備再構築積算基準の策定を。
・監理技術者の専任緩和期間において、他工事との兼任を可能として欲しい。

(3) 「下水道の現場を見よう」研修

① 日 時 平成28年10月5日(水)

② 場 所 下水道局葛西水再生センター

③ 参加者 会員28名

④ 内 容 会員の若手社員や事務職社員の下水道に関する関心や知識を深めるために、下水の流入から汚泥焼却、エネルギー利用までを処理の流れに沿って水再生センターを詳細に見学し、自分達が会社で携わっている業務が実際にどの様に事業化されているかを研修しました。センター長などの丁寧な説明もあり、参加者からは好評でした。

(4) 「下水道展'16名古屋」でGKP広報大賞部門賞を受賞

① 日 時 平成28年7月27日(水)

② 場 所 ポートメッセ名古屋

③ 内 容 当協会が昨年の下水道展において実施した工作教室「立体地図 東京透視模型“みえ〜る君”」が「第4回GKP広報部門・企業団体等広報部門賞」を受賞しました。

(5) 東京下水道関連団体交流会

東京都の下水道事業を支える東京都下水道サービス(株)、下水道メンテナンス協同組合、(一社)東京下水道設備協会間の連携を深め、異業種と交流することを目的に、次の研修を実施しました。

1) 相互理解研修

① 日 時 平成28年10月20日(木)

② 場 所 下水道技術実習センター、東大島幹線

③ 目 的 東京の下水道事業全体の把握と三者の役割の理解促進

④ 参加者 71名(会員12名)

⑤ 内 容 三者の役割等に関する講義、砂町水再生センター、下水道技術実習センター、東大島幹線の視察

2) 下水道最新事情研修

11月18日にTGS本社で下水道最新事情研修を実施しました。下水道局の経営計画2016やTGSの事業計画(28~32年度)、改正下水道法における都の取組等について、下水道局、TGSの講師から説明を聞く事が出来て、有

意義な研修でした。

- ① 日 時 平成28年11月18日(金)
- ② 場 所 東京都下水道サービス(株)本社会議室
- ③ 目 的 東京の下水道事業全体の把握
- ④ 参加者 83名(会員30名)
- ⑤ 内 容 下水道局経営計画2016、TGS事業計画、TGSの技術開発等及び改正下水道法における東京都の取組についての講義

3) 維持管理研修

12月2日にTGS本社で維持管理研修を実施しました。午前中は協会からは16名が参加し土木、設備、水質に関する維持管理の現状と課題についてTGSの講師から貴重な体験に基づく話を聞く事が出来ました。午後は視察しました。異業種の事業内容等に就いて見聞を広める事が出来て、有意義な交流会でした。

- ① 日 時 平成28年12月2日(金)
- ② 場 所 旧三河島污水処分場唧筒場施設、第二溜池幹線
- ③ 目 的 維持管理技術の研鑽と下水道事業における共通認識の向上
- ④ 参加者 66名(会員16名)
- ⑤ 内 容 維持管理技術の現状等の講義、旧三河島污水処分場唧筒場施設、第二溜池幹線の視察

3 機関誌等の発行を通じて下水道事業の普及啓発

(1) 機関誌「下水道設備」の発行

当協会において実施した事業活動状況の報告及び会員間の交流の場として、レポート・随筆等の紹介、さらに東京都の下水道事業動向などを掲載し、年間を通じて新年・春季・秋季に発行しました。

- ① 発行時期 1月、5月、10月の年間3回の発行
- ② 発行部数 各回毎に850部を発行
- ③ 配 布 無料配布で、会員及び関係機関等を対象

(2) 機関誌「下水道設備」の内容をホームページに掲載

協会ホームページに「下水道設備」の目次を掲載し、下水道技術の普及啓発を行いました。

4 講演会及び講習会の開催

(1) 公開講演会

- ① 日 時 平成28年10月25日(火)
- ② 場 所 角筈区民ホール
- ③ テーマ 「都市をたたむ時代のまちづくり」
- ④ 講 師 首都大学准教授 饗庭 伸 氏
- ⑤ 参加者 86名。会員、下水道局・TGS、一般の方がほぼ3割と昨年に続き多くを占めました。
- ⑥ 内 容 都市が縮んで行くプロセスをスポンジの様に隙間が出来ていくと

捉え、それへの対応として空き地や空き家を利用する地区レベルの取組を実践してはどうか、それが進展していけばスポンジが纏まっていき丁度良い都市になる。下水道施設等のようなハードなインフラには其の儘適用できないものの、建築学から都市がどのように見えているかといった点が面白い視点と感じました。

(2) 公開安全管理講習会の開催

- ① 日 時 平成28年11月8日(火)
- ② 場 所 東京都下水道局下水道技術実習センター
- ③ 項 目

ア 講習会

- ・ 講 師 (一社)東京技能講習協会 秋葉 栄氏
- ・ 参加者 38名(会員)、5名(下水道局職員)、5名(TGS社員)、計48名

- ・ 内 容 高年齢労働者の労働災害防止について

前半は、作業者の高齢化に対する一般的な対応はなされてきたがヒューマンエラーに着目した対応が不十分ではないかとの視点から、具体的な解説が行われました。高年齢者の特徴として判断能力などはあまり衰えないが、生理的機能(感覚・平衡感覚など)は早い時期から衰える、筋力は脚力から衰える、衰え方は個人差が大きい。そこで簡単でもよいからストレッチを適宜行う等、高齢者を意識した安全管理を行って欲しい等、大変参考になるものでした。

後半は、会員を対象とした体験研修を実施しました。一つ目は(株)明電舎の協力を得てVR体感研修として火の粉飛散火傷体感、作業台転落体感、墜落体感を体験しました。二つ目として日立工機(株)の協力で、安全化が進む電動工具の紹介を行いました。いずれも貴重な体験ができ大変有意義な研修でした。

5 東京都の下水道事業に関する施策に対する協力

(1) 工事安全パトロールの実施

- ① 日 時 平成28年11月30日(水)
- ② 場 所 西部第一下水道事務所中野水再生センター
- ③ 対 象 中野水再生センター送風機設備その2工事：(株)電業社機械製作所
中野水再生センター水処理電気設備工事：三菱電機(株)
中野水再生センター反応槽機械設備その2工事：メタウォーター(株)
- ④ 参加者 38名(会員27名、下水道局職員11名)
- ⑤ 内 容 公開安全管理講習会の成果も踏まえ、会員相互に工事現場を検証して安全管理能力向上を図ると共に、実際の工事現場で指摘された改善点は、後日改善し検証しました。最終的には報告書として整理し、都下水道局に提出するとともに全会員に配布しました。

なお、当協会員による重大(死亡)事故ゼロ日の達成記録は継続中であり、3月末現在で4,946日となりました。

(2) 東京都と連携した広報

一般新聞の首都圏版に都下水道局と連携し、下水道の仕組みを分かり易いマンガで表現した全面広告を掲載し、掲載新聞のモニターアンケートでは700万人弱の読者が「記憶に残る広告」と好評でした。

- (3) 災害時における水再生センター等の応急復旧業務に関する協定に基づく業務
 - 1) 東京都下水道局の防災訓練に参加
 - ① 日 時 平成28年10月14日(金)
 - ② 内 容 災害時の応急復旧訓練として、下水道局本庁部署との情報連絡訓練を実施しました。
 - 2) 協定における出動体制・連絡体制の見直し
出動体制表を下水道局設備の主要設備ごとに対応したものとすると共に、連絡体制表を常時連絡がとれるものに見直し、両表を下水道局に提出しました。併せて各会員にも、関係する部分に整理した表を配布し共有化を図りました。
 - 3) 東京都総務局業務用MCA無線機の配備と通信訓練の実施
 - ① 日 時 平成28年4月19日(火)、5月13日(金)
 - ② 内 容 大規模災害発生時における東京都下水道局と当協会間の通信手段確保のために配備された業務用MCA無線機を用い、局との間で通信訓練を実施しました。
- (4) 下水道局の実務研修への支援
 - 1) 運転・保全管理研修
 - ① 日 時 平成28年9月26日(月)～9月29日(木)
 - ② 目 的 水再生センターやポンプ所に設置されている設備の管理手法について、保全管理業務に従事する下水道局職員を計画的に育成する目的で下水道局が実施するもので、当協会の会員技術者が講師となって支援するものです。
 - ③ 対 象 主ポンプ設備、高圧電動機設備に関する保全管理研修を実施し、保全管理業務に従事する下水道局設備技術系職員、東京都下水道サービス(株)職員等が研修生として参加しました。
 - 2) 下水道事業パートナー研修
 - ① 日 時 平成28年10月21日(金)
 - ② 目 的 下水道局職員を対象とし、局と関連団体(TGS、下水道メンテナンス協同組合、当協会)との業務上の関りや各団体の実務を学び、運営体制の理解促進を図って下水道事業を効率的に執行するために下水道局が実施するもので、当協会の会員が講師となって支援するものです。
 - ③ 対 象 主に関連団体と関わりのある下水道局職員

6 下水道事業に関する調査等の受託事業

- (1) 汐留第二ポンプ所ほか3か所電気設備再構築基礎調査
 - ① 期 間 平成28年9月21日(水)～平成29年2月28日(火)
 - ② 内 容 汐留第二ポンプ所、芝浦ポンプ所、山谷ポンプ所、南部汚泥処理プラントの電気設備の現況を調査して再構築工事等に必要資料を作成しました。

(2) 下水道設備設計標準化作業委託

- ① 期 間 平成28年10月3日(月)～平成29年2月23日(木)
- ② 内 容 沈殿池機械設備設備及び合流改善機械設備他関連設備の設計の標準化を図るための作業を行いました。

(3) 監視制御設備データ通信基礎調査

- ① 期 間 平成28年10月3日(月)～平成29年2月23日(木)
- ② 内 容 遠制御監視制御装置の信頼性の現状調査及び信頼性向上対策の基礎調査を行いました。

7 共益事業

(1) 賀詞交歓会

平成29年1月6日(水)ロイヤルパークホテル本館において、(一社)日本下水道施設業協会と合同で賀詞交歓会を開催しました。下水道事業を取り巻く環境は相変わらず厳しいものがありますが、東京都・国土交通省等のご来賓のご挨拶を受けながら会員が一堂に会し、新年の新たな取り組みなどについて意見交換等を行いました。

(2) 会員会報「設備協だより」の発行

会員へのお知らせ・報告等を適宜整理して毎月メールで送信しました。

- ① 発行時期 毎月1回(年間12回)発行
- ② 発行方法 各会員の正・副連絡者宛に毎月の下旬に送信
- ③ 内 容 当協会における活動内容及び都庁関連情報等

(3) 公共設備技術士フォーラムとの共催

当協会は、技術士の団体である「公共設備技術士フォーラム」と共催して講演会を年間2回実施しました。

1) 春季講演会

- ① 日 時 28年6月28日(火)
- ② 場 所 自動車会館 会議室
- ③ テーマ 「上下水道施設とIoT応用…その光と影」
- ④ 講 師 電気通信大学大学院教授 新 誠一 氏
- ⑤ 参加者 9名(会員)

2) 秋季講演会

- ① 日 時 平成28年12月15日(木)
- ② 場 所 自動車会館 会議室
- ③ テーマ 「進化する下水道」
- ④ 講 師 (公財)日本下水道新技術機構専務理事 岡久 宏史 氏
- ⑤ 参加者 19名(会員)

8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 協会ホームページに当協会が主催する行事等を掲載し、当協会の事業活動を広

く公開しました。

(2) 専門紙・誌へ広告を掲載し、協会や会員のPRを積極的に行いました。

(3) 下水道職員健康駅伝大会への参加

平成29年2月4日(土)、協会のPRや、会員の社員・職員の健康向上、関係者との親睦を目的とし、第31回下水道職員健康駅伝大会に5チームが参加しました。協会の名をプリントしたビブスや幟によって、統一感のあるプレゼンスを示す事が出来ました。

Ⅲ 会議等の開催状況

1 理事会

(1) 第1回理事会

第41回定時総会に伴い、平成28年5月18日に開催しました。

第1号議案：公益目的支出計画実施報告書及び監査報告の件

以上の議案を慎重に審議し、全員の賛同により、その結果を第41回定時総会に提案しました。

(2) 第2回理事会

平成29年2月28日に開催しました。

第1号議案：平成28年度収支予算の変更の件

第2号議案：平成29年度事業計画及び収支予算の件

第3号議案：規程改定の件

以上の議案を慎重に審議し、全員の賛同が得られました。

2 総会

(1) 第41回定時総会

平成28年5月18日に開催しました。片岡会長が議長となり、理事会の決済の省略によって理事会決議で可決する旨の決議のあった平成28年度事業報告・決算・監査報告について審議し、原案のとおり議決・承認されました

また第1回理事会で議決された案件について報告を受けました。

3 その他

(1) 常任幹事会及び委員会等

常任幹事会、7つの委員会及び3つの部会の活動日程とその概説については、下記の記録をご覧ください。

平成28年度 常任幹事会・各種委員会等記録

日付	委員会等	場所	概説
4月12日	電機部会	都庁会議室	監視制御設備データ通信基礎調査
4月19日	拡大幹事会	当協会会議室	総会議案について
4月19日	業務委員会	〃	総会運営について
4月26日	電機部会	都庁会議室	監視制御設備データ通信基礎調査
5月11日	調査委員会	当協会会議室	今後の進め方について
5月13日	事業委員会	〃	事業説明会について
5月17日	電機部会	〃	監視制御設備データ通信基礎調査
5月23日	事業委員会	〃	今年度活動について
5月23日	東京下水道関連 団体交流会	TGS会議室	年間活動予定について
5月24日	常任幹事会	当協会会議室	定時総会報告他について
5月25日	維持管理委員会	〃	劣化状況調査について
5月25日	処理装置部会 (沈沙池分科会)	〃	沈沙池機械設備再構築工事について
5月26日	調査委員会	〃	局要望活動について
5月26日	事業委員会	新宿NSビル	事業説明会
6月2日	技術委員会	当協会会議室	平成28年度技術研修会について
6月14日	常任幹事会	〃	各委員会の活動状況について
6月17日	安全管理委員会	〃	平成28年度の活動について
6月20日	処理装置部会 (沈沙池分科会)	〃	沈沙池機械設備再構築工事について
6月21日	事業委員会	〃	公開講演会について
〃	調査委員会	〃	局要望活動について
6月22日	〃	〃	〃
6月23日	技術委員会	〃	技術研修会について
6月24日	広報委員会	〃	読売新聞広告について
6月29日	東京下水道関連 団体交流会	TGS会議室	年間活動予定について
7月5日	調査委員会	当協会会議室	局要望活動について
7月06日	〃	〃	〃
7月11日	安全管理委員会	〃	安全管理講習会について
7月12日	常任幹事会	〃	要望活動他について
7月12日	処理装置部会 (沈沙池分科会)	〃	沈沙池機械設備再構築工事について
7月26日	処理装置部会 (沈沙池分科会)	〃	〃
7月26日	維持管理委員会	〃	劣化状況調査について
8月9日	調査委員会	〃	要望事項について

8月18日	電機部会	TGS会議室	電気設備再構築基礎調査（山谷ポンプ所）について
8月23日	拡大幹事会	当協会会議室	要望活動他について
8月30日	東京下水道関連 団体交流会	TGS会議室	相互理解研修について
9月28日	常任幹事会	当協会会議室	工事安全パトロール他について
9月30日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（山谷ポンプ所）について
10月7日	東京下水道関連 団体交流会	TGS会議室	下水道最新事情研修について
10月13日	処理装置部会	当協会会議室	沈殿池機械設備設計マニュアル（追補版）について
10月18日	常任幹事会	〃	技術視察他について
10月18日	広報委員会	〃	機関誌 125号について
10月25日	事業委員会	角管ホール	公開講演会
10月24日	電機部会	当協会会議室	監視制御設備データ通信基礎調査について
11月1日	〃	〃	監視制御設備データ通信基礎調査について
11月2日	処理装置部会	〃	沈殿池機械設備設計マニュアル（追補版）について
11月2日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（汐留第二ポンプ所・南部汚泥 処理プラント・芝浦ポンプ所）について
11月7日	東京下水道関連 団体交流会	TGS会議室	下水道最新事情・維持管理研修について
11月8日	常任幹事会	当協会会議室	公共設備技術士フォーラム他について
11月8日	電機部会	TGS会議室	電気設備再構築基礎調査（汐留第二ポンプ所・南部汚泥 処理プラント）について
11月14日	風水力部会	当協会会議室	主ポンプ設備の耐震性向上策について
11月16日	電機部会	〃	監視制御設備データ通信基礎調査について
11月22日	〃	TGS会議室	電気設備再構築基礎調査（山谷ポンプ所）について
11月24日	風水力部会	当協会会議室	主ポンプ設備の耐震性向上策について
11月25日	〃	〃	〃
11月25日	処理装置部会	〃	沈殿池機械設備設計マニュアル（追補版）について
11月28日	東京下水道関連 団体交流会	TGS会議室	維持管理研修について
11月30日	電機部会	〃	監視制御設備データ通信基礎調査について
11月30日	技術委員会、3部 会長会	当協会会議室	受託事業に含まれない技術研修について
12月1日	電機部会	TGS会議室	電気設備再構築基礎調査（山谷ポンプ所）について
12月2日	処理装置部会	当協会会議室	沈殿池機械設備設計マニュアル（追補版）について
12月8日	風水力部会	〃	主ポンプ設備の耐震性向上策について
12月13日	常任幹事会	〃	H28年度第2回理事会他について
12月13日	維持管理委員会	〃	劣化調査シートの取り扱いについて
12月20日	電機部会	TGS会議室	電気設備再構築基礎調査（汐留第二ポンプ所・南部汚泥 処理プラント）について

12月21日	電機部会	当協会会議室	監視制御設備データ通信基礎調査について
12月21日	〃	TGS会議室	電気設備再構築基礎調査（山谷ポンプ所）について
1月17日	〃	〃	電気設備再構築基礎調査（汐留第二ポンプ所・南部汚泥処理プラント・芝浦ポンプ所）について
1月17日	常任幹事会	当協会会議室	H28年度第2回理事会他について
1月18日	電機部会	〃	監視制御設備データ通信基礎調査について
〃	維持管理委員会	〃	劣化調査シートの取り扱いについて
1月19日	東京下水道関連 団体交流会	TGS会議室	東京下水道団体交流会研修報告書について
1月20日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（汐留第二ポンプ所・南部汚泥処理プラント・芝浦ポンプ所）について
1月20日	〃	〃	電気設備再構築基礎調査（山谷ポンプ所）について
1月23日	〃	TGS会議室	電気設備再構築基礎調査（汐留第二ポンプ所・南部汚泥処理プラント）について
1月31日	〃	当協会会議室	監視制御設備データ通信基礎調査について
2月2日	広報委員会	〃	下水道展他について
2月3日	維持管理委員会	〃	劣化調査シートの取り扱いについて
2月14日	拡大幹事会	〃	平成28年度第2回理事会議案他について
2月16日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（山谷ポンプ所）について
2月16日	〃	当協会会議室	監視制御設備データ通信基礎調査について
2月17日	〃	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（汐留第二ポンプ所・南部汚泥処理プラント・芝浦ポンプ所）について
2月20日	〃	TGS会議室	電気設備再構築基礎調査（汐留第二ポンプ所・南部汚泥処理プラント）について
2月22日	東京下水道関連 団体交流会	〃	東京下水道団体交流会研修報告書について
2月24日	電機部会	都庁会議室	監視制御設備データ通信基礎調査について
3月1日	〃	当協会会議室	〃
3月7日	常任委員会	〃	協会理事について
3月14日	〃	〃	協会理事他について
3月21日	東京下水道関連 団体交流会	TGS会議室	次年度の活動予定について